

自然素材住宅新聞

発行 自然素材建築研究所
グランドディアホーム(株)
〒285-0837
千葉県佐倉市王子台1-21-2
TEL 043-461-9065
FAX 043-489-0275
URL http://grandiahome.jp
e-mail info@grandiahome.jp

「結露がカビを呼び、カビがダニを呼び」

明けましておめでとございます。本年もよろしくお願ひ致します。

先月号の『自然素材住宅新聞』では、結露が起るメカニズムをお伝えいたしました。先月号のおさらいになります。空気中には水分が含まれており、空気が含む事が出来る水分量を超えてしまつと結露として表面に出て来ます。また空気は温度が高いほど水分を多く含む事ができ逆に温度が低い時は、含む事が出来る水分量は少なくなり、急激に温度が下がると空気中に含む事が出来なくなつた水分が表面に現れて来ます。これが結露が起るメカニズムです。

では、結露が起ると、どういった問題があるのか、なぜ結露を抑える必要があるのか。今月号の『自然素材住宅新聞』では、「結露・カビ・ダニ」について解説させていただきます。

1、カビの好物は結露の水滴

結露とカビ、ダニとは密接な関係を持つています。まずカビについてですが、カビとは、真菌類が生長して目に見えるくらいの大さきになったものを指す一般名とされています。チーズなどを発酵させるための酵母や、食用されるキノコ類もカビの一種です。生活に欠かせないカビも有ればアレルギー(アレルギーの原因)やアトピー性皮膚炎の原因の一つとして考えられてる物もありです。

カビは、酸素、温度、栄養源、水分があればどこでも繁殖します。温度20℃以上、湿度60%以上を好み、80%以上になると大繁殖するといわれています。カビを防ぐ為に酸素を無くす事は出来ませんが、20℃以下、湿度35%以下に保つておくと繁殖しにくくなります。

は人間の快適温度と重なるので対策を講じるのは難しいと思います。

またカビは、食品以外にも様々な物を栄養源と出来るので、ほとんどの建材がカビの栄養源になってしまっています。プラスチックや接着剤、のりなどを好むカビもいます。それなので栄養源を少なくする事は出来ても完全に無くす事も難しいでしょう。

最後に残るのは水分です。カビ対策に有効なのは水分(湿気)だけです。湿度が60%以下では生育しないカビがほとんどなので、湿度を抑える事でカビの繁殖も抑える事が出来ます。しかし、室内の湿度を下げておいても結露が起きてしまつては、あつと言つても間にカビが繁殖してしまつたので、結露した場合は結露した水滴を素早く拭いたり、浴室の水滴もなるべく早く乾燥するように換気扇を回すなどの気遣いも大事です。

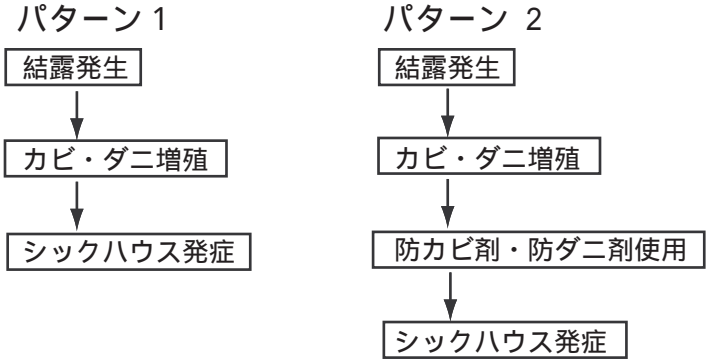
カビ対策まとめ

- ・十分な換気を行う(浴室は特に)
- ・こまめな部屋の清掃(エアコン内部は特に)
- ・結露の防止
- ・結露水を放置しない
- ・天然由来成分の防カビ剤の使用

2、小児喘息の原因はダニ、全ては結露から・・・

住まいで発生するダニには、かゆみを起こす「ツメダニ」、アレルギー(アレルギーの原因)になる「チリダニ」、様々な食べ物やカビを摂食する「コナダニ」などの種類があります。この中で全体の7割を占めるのが「チリダニ」になります。また、この種は刺す事はありませんが、抜け殻やフンがアレルギー(アレルギーの原因)になると言われています。

結露が原因でシックハウス症候群になるパターン



また、「チリダニ」が増えると、それをエサとして「ツメダニ」が増えるので特に注意が必要になります。小児喘息の80%〜90%がダニアレルギー起因によるものと言われています。ダニのフンや脱皮殻、ダニの亡骸は、形がそのまま残るのではなく、風化とともに砕けて小さくなつていきます。何度か砕けることで、最終的には非常に微細な粉末になります。そして粉末状になつた、このダニアレルギーは、少しでも風が吹けば簡単に空中に舞いあがり、しばらくも空中に浮遊することになるのです。しかも厄介なことには、ここまで微細になると舞っている時間も長く、一度舞つた

1	ハウスダスト(ダニも含む)
2	ブタクサ花粉
3	絹
4	ソバガラ
5	羊毛
6	ネコ毛
7	スギ花粉

松下電器産業(株)
ホームページより

1	ハウスダスト	89.8%
2	ダニ	87.6%
3	カビ	71.4%
4	スギ花粉	23.5%
5	ペットの毛	21.1%

「アトピー、アレルギーの直し方」
主婦の友社より

弊社では毎月、第二、第四、日曜日に「自然素材の勉強会」を行つております。そちらの勉強会へ参加頂ければ、実際に自然素材に触れて頂く事も出来ますので、お気軽にご参加下さい。

今月号では、「結露がもたらす弊害」をお伝え致しました。

ら、なかなか床に落ちてきません。床に落ちてきても、人が歩いたり、少しでも風が吹けば再び空中に舞い上がり、呼吸をする度にこれらを吸い込む事になるのです。ダニもカビと同じように、湿度75%前後で活発に活動を行います。喘息の方が湿度の高い梅雨時に症状が悪化するの、これが原因です。それなので湿度を抑える事は、建物にとつても人体にとつても非常に重要になります。

この表からも小児喘息やアトピー性皮膚炎を予防するにはカビ・ダニを抑える事が重要なのが分かります。それらカビ・ダニの活動を抑制するには湿度の管理が大切になります。